


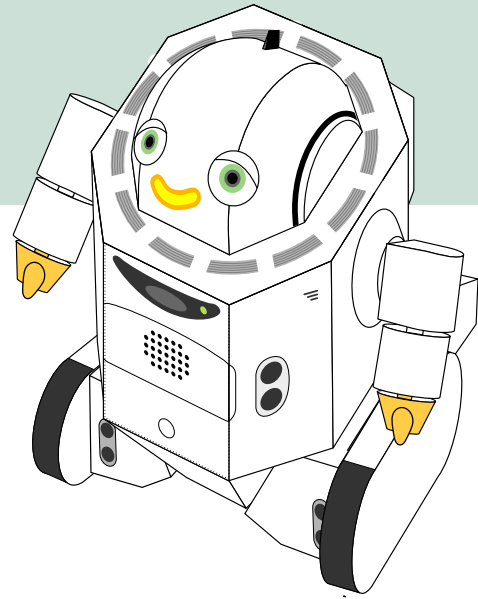


ifbot

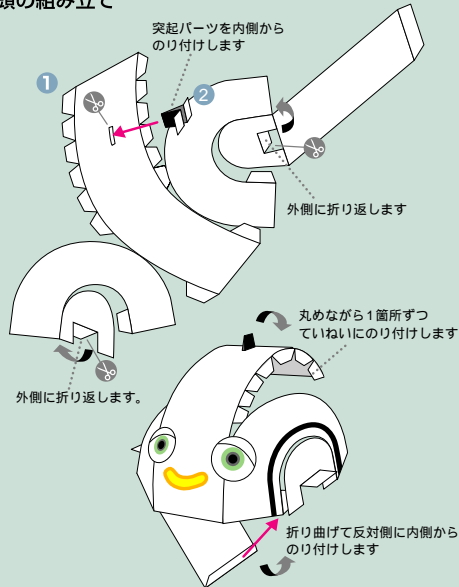
感情表現豊かな
コミュニケーションロボット「ifbot」

切りとり線にそって、はさみやカッターナイフでいねいに切りはなします。丸い部分は、サークルカッターを使うときれいに切り抜くことができます。
先のとがったもの(鉄筆やインクの切れたボールペンなど)と定規を使い、ボール紙やカッターマットなどの台紙の上で、折り線に沿って線を引くように筋をつけます。しっかりと折り曲げ、図にしたがって組み立てます。接着剤をつまようじでうまく塗って、1箇所ずついねいにのりづけします。
紙を丸める部分は、丸いペンに巻きつけたり机の角でしごいてクセをつけます。
細かい部品の組み立てにはピンセットを使うと便利です。
刃物や接着剤など、道具の扱いには充分注意してください。

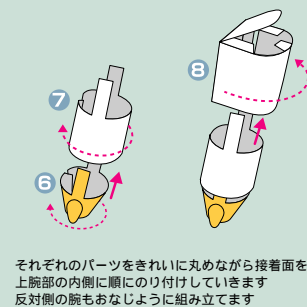
実線	切りとり線			のりしろ
点線	山折り線			切り抜き
破線	谷折り線	+		円の中心(サークルカッターを使う場合)



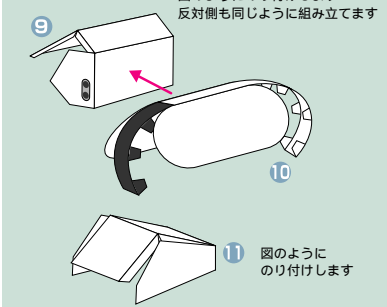
頭の組み立て



腕の組み立て



脚部の組み立て



ボディの組み立て

